

受賞コメント

白幡台住宅 第4回大規模修繕工事

この度は、このような賞を受賞させて頂きまして大変ありがたく御礼申し上げます。また、工事の際にご理解、ご協力を賜りました管理組合様、監理者様、さらには直接的に施工をしてもらった協力業者の皆様方へも感謝の気持ちでいっぱいです。

当該物件は、16棟544戸築48年と多棟型かつ築年数の経っている大規模団地であります。居住者様におかれましては、ご高齢の方々が多く工事に対する問い合わせも多く個別に丁寧に対応させていただきました。バルコニーのお片付けについては、お手伝いが必要な居住者様が大変多かったため、現場所員全員で対応させていただき、労いのお言葉も多くいただきました。

建物についてはアスベスト対応物件であり、外壁ピンネット工法その他外壁穿孔工事の作業員は保護服着用の作業となり、夏の熱中症熱対策には試行錯誤しながら作業員の体調管理に留意しました。

また分離発注業者との調整業務など懸念される事が多岐にわたりございましたが、管理組合様をはじめ工事関係者一丸となり竣工を迎える事が出来ました事を嬉しく思います。

今回の工事で建物の長寿命化を果たした物件を、アフターサービスしていきながら少しでも長く居住者様の住みやすい大切な建物に寄り添ってお付き合いさせて頂けたらと思っております。今後とも長いお付き合いの程、宜しくお願い申し上げます。

施工者 株式会社大和 高橋聡巳様

受賞コメント

白幡台住宅 第4回大規模修繕工事

私が、白幡台住宅管理組合の建築技術顧問として関わらせていただきましたのが平成18年からですので、今年で14年目となります。着任した時点では、3回目の大規模修繕工事が終って2年経過している状況で、今後は、設備改修を中心に行っていきたいとのことでした。

まず、私が行なったことは、長期修繕計画の作成で、その後も、短期中期計画を毎年見直ししながら、設備改修を中心に行ってきました。それが、一回廻りして、4回目の大規模修繕工事まで、関われることになったのですから、今までを振り返ると、感慨深いところもあります。

白幡台住宅のような郊外の高経年団地型マンションは、高齢化の問題が大きく、建替え、耐震化など、検討事項は多いのに、なかなかうまく進めないというときもありましたが、それでも、「出来ることからやっていきましょう」と、管理組合の皆様と心を一つにして、建物維持保全のみならず、住まい方の提案にも取り組んできたという自負はあります。

まだまだ、やり残していることが山積している感はありませんが、このたびのマンションクリエイティブ賞の受賞を励みにして、これからも、邁進していきたいと思います。ありがとうございました。

監理者 一級建築士事務所 有限会社ノマド 永島優子様